

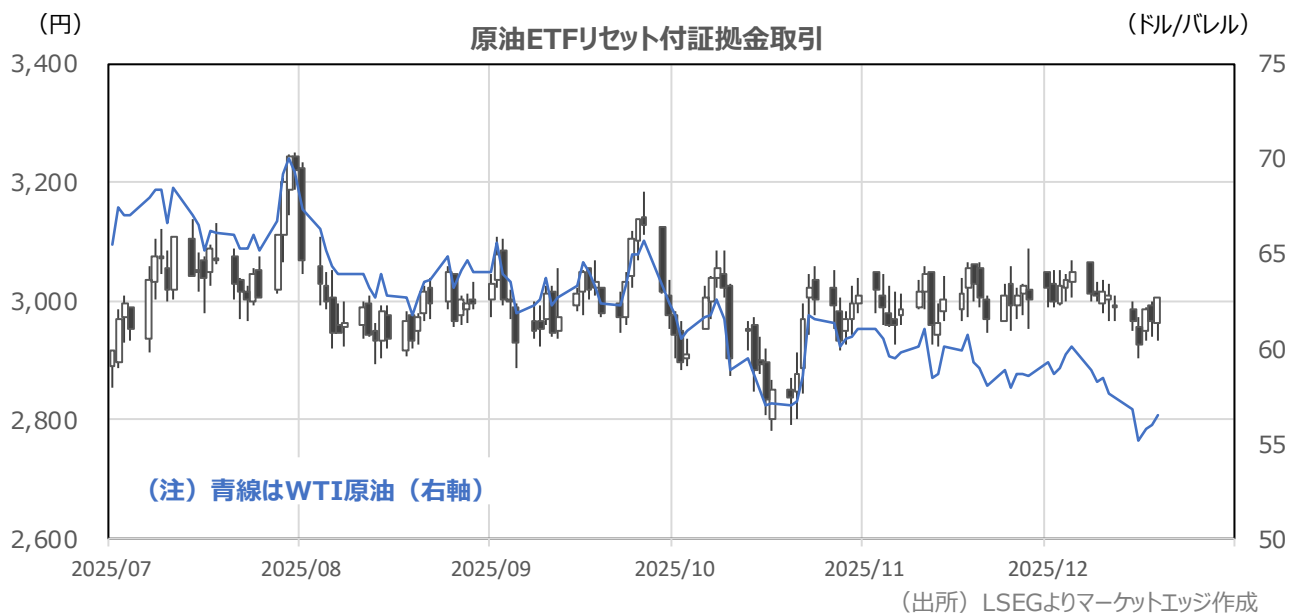
# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/12/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 年初来安値更新後、供給不安で修正高に

NY原油先物相場は、1バレル=54ドルまで下落して2021年2月以来の安値を更新した後、56ドル台中盤まで切り返す展開になった。週前半はウクライナ和平への期待を織り込む動きが優勢になり、4月9日に付けた年初来安値55.12ドルを下抜いた。しかし、そのタイミングでトランプ米大統領がベネズエラから出入りする制裁対象の石油タンカーについて、「全面的かつ完全な」封鎖を命じると、供給不安の織り込みで安値修正を進める動きが優勢になった。単純な下げ過ぎ感の影響もあり、下げ一服となった。

トランプ米大統領は12月16日、自身のSNSでベネズエラのマドゥロ政権が石油による資金調達を麻薬テロや人身売買、殺人、誘拐などに利用していると批判した。既にベネズエラ沖では米軍が石油タンカーを拿捕するなど緊張感が高まっていたが、今後はベネズエラ産原油の輸出に強力な制約が課せられることになる。マドゥロ大統領は軍に石油タンカーの護衛を命じるなど緊張感が高まっており、原油相場は供給リスクの織り込みで安値修正を進めた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月12日時点）は、原油が前週比127万バレル減、ガソリンが481万バレル増、石油精製品が171万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【展望】

### ベネズエラとロシア情勢に要注意も、戻りは売られる展開

引き続き地政学環境は不安定だが、戻り売り優勢の地合が続く見通し。供給不安の織り込みが強化されれば50ドル台後で更に安値修正が進む可能性を抱えるが、国際需給の緩和見通しに修正を迫るのは難しく、戻りは売られる見通し。特にウクライナ和平協議に進展がみられると、クリスマス休暇を挟んで年初来安値を更新する可能性もある。

ロシア産とベネズエラ産の供給不安を抱えているため、前週と同様に瞬間的な上昇リスクは想定しておく必要がある。ベネズエラ沖で石油タンカーが拿捕される。米軍とベネズエラ軍の衝突、米軍のベネズエラ麻薬施設に対する攻撃などが報告されると、買いが膨らみやすくなる。また、ウクライナ和平協議の難航で米欧が対口追加制裁の動きを活発化させる、ウクライナ軍がロシア石油関連施設を攻撃した際にも、買いが膨らむ可能性が高い。

一方、トランプ米大統領はクリスマスまでにウクライナ和平を目指している。ウクライナは領土問題や北大西洋条約機構（NATO）加盟問題で一定の譲歩を見せている。ロシアはウクライナがさらに踏み込んだ譲歩を見せることを要求しているが、仮に和平合意が実現に向かうと、50ドル台前半で上値が重い展開になりやすい。

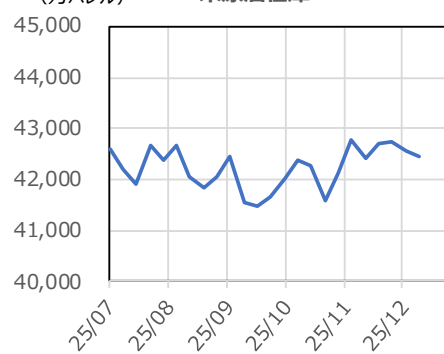
もっとも、いずれにしても原油相場の値下がり見通しに変化は生じない。ベネズエラ産原油の供給が数十万バレル規模で落ち込むことを前提にしても、供給過剰見通しに変化は生じない。地政学リスクの織り込によって上昇した局面は、引き続き戻り売り対応が基本になる見通し。本格的な上昇トレンドが形成される見通しにはない。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



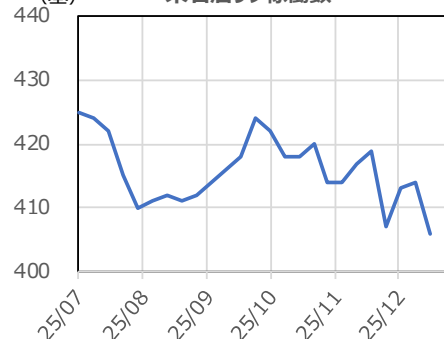
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 [info@markededge.co.jp](mailto:info@markededge.co.jp)

#### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

